

12月6日（水）放課後，校長室にて「**中学生の税についての作文**」コンクールで本校2年生徒が見事「**旭川中地区納税貯蓄組合連合会会長賞**」を受賞し，その表彰が行われました。

授賞式では，旭川中地区納税貯蓄組合連合会の会長が自ら賞状を読み上げ，副賞とともに生徒に手渡しました。

この「中学生の税についての作文」は国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が毎年実施しており，今年度も応募総数445，945編が集まりました。その中からわずか192編の作品が入選という厳しい審査の中での受賞とあり，大変光栄なことです。本当におめでとうございます。

### あらすじ紹介

「**税と災害の関わり**」という題名で，税がどのようなところで使われているか幾つかの例を挙げながら説明。次にもし税がなくなったら前述した例はどうになってしまうのだろう。そこから税の大切さ，税と災害の関係が述べられ，最後に本人の考えがまとめられた作文です。

### 受賞した感想

この作文は，私が一生懸命に何度も下書きを書き直し，やっとの思いで完成させた作文なので，受賞できてとてもうれしく思います。これからこの経験を生かしながら更に成長できるようにしたいです。



来校いただいた，納税貯蓄連合会会長様，旭川中税務署総務課の徴収官様には，お忙しい中本校生徒に荣誉ある機会を作って頂きましたことにお礼申し上げます。